



色とりどりのアジサイを眺める園児

アジサイのように笑顔も満開

■秋葉公園アジサイ鑑賞／静波保育園

静波保育園の3・4・5歳児93人は6月14日、秋葉公園にアジサイを見に訪れました。

公園には、8種類約4,000株のアジサイが群生し、梅雨時期の5月下旬から6月下旬にかけて、色とりどりの花を咲かせ、来場者を楽しませています。期間中は、夜間のライトアップも行われています。

梅雨の晴れ間となった同日、園児らは満開となったアジサイを眺め、「いろんな色できれい」「花の傘みたいで大きい」と歓声を上げ、鑑賞を楽しんでいました。

水をいつまでも大切に

■市管工事協働組合が水道週間にボランティア

市管工事協働組合に加盟する水道事業所23社が6月5日、市内の小中学校のトイレや水飲み場などをボランティアで点検しました。

これは6月1日からの水道週間に併せて毎年行われているもので、2人ずつのグループに分かれ、13校を確認して回りました。

細江小では、校庭の水飲み場やトイレの手洗い場などを点検し、パッキンの交換などを実施。池田憲治組合長は、「週に一度は水を大切にするよう気配りをしてほしい」と話しました。



細江小の校庭で水道の蛇口を点検する水道事業者

静岡牧之原茶っておいしいやん

■「静岡牧之原茶」大阪新茶キャンペーン

「静岡牧之原茶」大阪新茶キャンペーンが6月22日と23日、大阪市内の百貨店で行われました。

静岡牧之原茶の消費拡大を目指し、開かれていたキャンペーンは今年で4回目。市出身で「静岡まきのはら大使」の貞井保さんが創業した茶卸問屋「榛原」の店頭で、もえぎ色の法被を着た市長や茶娘姿の職員が買い物客に新茶を振る舞いました。試飲した買い物客からは、「こんな色が出るのは凄い」「おいしい」と好評。市内の観光施設やメロンなど市特産品もPRしました。



買い物客に静岡牧之原茶をPRする市長（中央）

増築工事の安全を願う

■細江小学校校舎増築工事起工式

細江小学校校舎増築工事の起工式が6月21日、同校で行われました。

今後の学級編成による教室不足や狭隘な図書室拡充のため、増築を決定。既存校舎西南に建設される、平成26年2月完成予定の校舎は、鉄骨2階建て、延べ床面積約529m²で、1階は図書室や資料室、2階はパソコン室などを設置し、既存校舎の特別教室は普通教室として利用します。津波対策として、既存校舎とを結ぶ外階段を設置し、3階建ての既存校舎屋上への避難を可能にします。



代表で式に参加する鈴木涼太さん（左）と松浦菜奈さん（右）

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎052 230052 E-mail: seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

**開館から7年半で200万人達成**

■さがら子生まれ温泉会館入館者200万人達成

さがら子生まれ温泉会館の入館者が200万人を達成し、6月1日に記念セレモニーが開かれました。

同温泉は、ナトリウム塩化物泉で神経痛や関節痛、冷え性などに効くとされ、平成17年12月の開館以来、1日平均750人が利用し7年半で200万人を達成。セレモニーでは、同会館の山崎善道社長が菊川市から訪れた200万人目の富原初枝さん、安松静江さん、安松いさみさんに地場産品の詰め合わせや入館券などの記念品を贈呈しました。

富原さんは、「自宅から近いので週1回は利用している。温泉が日々の楽しみになっているので、今後も利用したい」と話しました。



くす玉を割って入館者200万人達成を喜ぶ富原さんら（左）

さらなる「上昇」に期待

■富士山静岡空港開港4周年記念式典

開港4周年を迎えた富士山静岡空港で、開港日の6月4日に記念式典が開かれ、県知事など関係者約50人が出席しました。

式では、各航空会社のスタッフが就航先を紹介。県知事らは富士山を模したケーキに立てられた4本のろうそくを消して、4周年を祝いました。

式典後、関係者は出発ロビーと到着ロビーで、搭乗客へ記念品を配布。空港を利用した県内の50代男性は「もっと便数が増えて、便利になってほしい」と、さらなる空港の発展に期待しました。



到着ロビーで記念品を手渡す田久副市長（左）

**宝くじ助成金で公民館の備品を整備**

■財団法人自治総合センターCommunity助成事業

仁田町内会では5月、宝くじの社会貢献拡大事業として、財団法人自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」を活用して、公民館で使用する備品を整備しました。

整備した備品は、パッケージエアコンやエアコン、冷蔵庫、コピー機、テレビ、ブルーレイレコーダーなどの10品目。

これにより、子どもからお年寄りまでより便利で快適に公民館を使用することができ、地域コミュニティ活動の活性化が期待されます。